愛板

愛知県
板金工業組合

名古屋市熱田区
森後町1丁目50
電話(681)4734
発行人　柴田嘉市

鉄骨建築に…
富士波ラスシート
TOHO 東邦シートフレーム株式会社
名古屋営業所
☎(582)〇四四一

理事会報告

林吉三郎氏(岡崎)常務理事

理事に高柳丑五郎氏就任

九月十九日午後一時三十分より、名古屋駅前の愛知県中小企業センターに於て理事会を開催、出席は柴田理事長、栗田副理事長、常務理事全員、理事十九名であった。

会議は鳥居常務理事の開会の辞から、柴田理事長の挨拶があって議案審議に入った。概要次の通りである。

一、愛知県板金会館建設について

二、全国大会参加要綱について

三、東三(豊橋)支部組合加入について

四、中部板金ブロック協議会の経過報告

先づ板金会館の建設については、去る七月四日の理事会に於て可決された通り、建設に関する基本方針については決定済みであるので、今般の理事会では、資金、場所、構造等に関して協議を行った。

最初に理事長より、予算はあく迄も概算である旨と、職業訓練教習場との関連、資金借入れ及び調達、土地の所在地、購入等に関して抱負を述べた後、各理事より支部毎の意見を聴取した。出席理事よりは活発な発言が種々あったが、そのうち主なものは次の通りであった。

水谷理事(西春)七月三十日、三時間にわたって支部内の意見を調整、白紙一任となった。尚そのとき理事長以下役員からの寄付申し出はないかとの質問があった。

林理事(岡崎)岡崎訓練センターが目下建設中、建設業関係の建設会館の計画で寄付の申し出がある、板金会館の建設には賛成だが、出資はお付合い程度に願いたい。

八神理事(中川、港)今後の加入者に対して出資をどうするか。

竹内常務理事、一宮の支部役員で相談、内二名賛成、その後の経過はわからないが、組合の決定には順応する。その時の意見として、板金会館の必要性を追及された。

荒川理事(昭和)出資の場合腹案があるか。地区内の出資分割は支部に一任願いたい。

以上の通りで、理事長より質問に対しては夫々説明があり、全体に出資の比率に関して、名古屋市の内外とに差をつけることの要望が多く、そのパーセンテージを如何にするか、今後の審議に待つことになった。

各意見を綜合して建設に関する意欲は盛り上りつつあり、柴田理事長は事が重大であるため慎重審議時間をかけて建設に進む旨の発言があり、全員の諒承を得た。

続いて四十八年二月開催の全板連第二十五回全国大会参加に関して、理事長及び事務局員よりその要綱の発表があり、特にこの大会の表彰者は本組合より三名推薦することを述べ、各支部よりの該当者の推薦又は申出では十月三十一日迄と決定した。大会開催要綱は別掲の通りである。

次に種々の事情のため脱退のままであった東三支部(豊橋方面)では、知多支部有志外の斡旋等で復帰することになった。その旨理事長より報告があって、全員拍手裡に再加入を喜びあった。詳細は本紙前号の通りである。

中部板金ブロック協議会は、(前号既報)九月三日静岡県伊東温泉ハトヤホテルに於て開催、本組合よりは前田、岡戸両常務理事が出席したので、その報告が前田常務理事より概ね次の如くあった。

当日の出席は本組合二名の外、富山、石川、福井、岐阜、三重の各理事長、静岡は理事長、副理事長、専務常務理事計十二名、外に三晃金属、安田金属両社、塩ビメーカー五社の各代表であった。

協議は会長若林三重県理事長の挨拶に初まり、一、全国大会に関しては各委員会に於て意見を統一すること

一、組合の強化のためアウトサイダーの対策

一、住宅産業品質向上講習会の開催

一、塩ビ製品の価格、三晃式プレハブ屋根の施工に関して

等が協議され、夕刻会議終了、宴席に移った。

以上で各議案の審議及び報告が終り、柴田理事長より、岡崎支部の加入者増加の現状と併せて、中三河方面の運営のために、午前中の常務理事会に於て協議した通り、理事林吉三郎氏を常務理事に推薦する旨を満場に告げ、全員拍手を以て決定した。尚任理事として高柳丑五郎氏も就任決定、両氏より就任挨拶と協力する旨の力強い発言があった。

最後に全板連事業部よりの建築板金工事価格についてのアンケート記入があって、午後五時閉会解散した。

常務理事会

九月の常務理事会は九月十九日午前十時より愛知県中小企業センターに於て開催、出席は理事長以下全員八名、午後の理事会に臨む意見の調整に努めた。議案については各議案の審議と及びその内容は別掲理事会報告同様のため省略する。

終了後、柴田理事長より常務理事を増員する旨の発言あり、岡崎を含む中三河地区の組合員加入増と、組合事業への協力度より、理事林吉三郎氏を推すことに全常務理事賛成、午後の理事会に於て推薦決定することになった。

これによって三河地方は鳥居常務理事と協力、連絡協調に当ることになった。

大同Pデッキ
(複式折版構造屋根)
ビニエバー・大同スパン
販売・責任施工

工事をやって頂ける鈑金業者を募集しております。御連絡下さい。　係…上田

船津建設株式会社
名古屋市昭和区広路本町4－48
TEL(052)852－6411(代表)　〒466

住宅産業品質向上講習会について

四七年度住宅産業品質向上講習会の趣旨等については、八月十五日号の板金新聞に発表してありましたように、通産省に於ては全国的に普及している金属屋根の将来性を採りあげ、今後の問題の研修、指導のため左記により講習会を開催することになりました。

ついては将来のため若い年層の方の受講も必要と思いますので、多数の受講をお願い致します。

記

一、開催地　東京、仙台、名古屋、大阪、四国、福岡

二、開催日時　（名古屋会場）昭和四十七年十一月八日より十日迄（三日間）

会場及び場所は十月中に連絡します。

三、名古屋会場対象地域　中部七県

四、受講者資格　原則として組合員

五、受講者定員は第一日（十一月八日）のみ六〇名（第一日愛知県は一一名）第二日、第三日は定員制限しません。

六、受講者氏名、十月十五日迄に組合事務所迄お知らせ下さい。

（注　本号発行は十月十五日以降の場合お許しを乞う。組合よりは理事長名にて通知してある）

第25回全板全国大会要綱

一、大会日時　昭和四八年二月二一日　午後一二時三〇分

二、受付開始　〃　午前九時

三、大会会場　高知市中島町「県民ホール」

四、機械工具展示場　山内会館（県民ホールから約一〇〇米）

五、参加会費　一人四五〇〇円（一泊二食付他に大会当日昼弁当用意）

個室使用同伴者　一人五〇〇〇円　大会参加のみ一人一〇〇〇円（交通費三七五〇―片道概算）

六、申込受付

(1)昭和四七年九月二八日までに参加者の概数をご通知下さい

(2)昭和四七年一〇月二五日までに参加者の名簿と予約金一人二五〇〇円を添えて送付下さい

(3)名簿用紙は参加者概数到着後お送りいたします

(4)予約金は参加費の内金として処理しますが、万一不参加の場合でも返金いたしませんので前もってご了承下さい

七、観光案内　モデルコースの案内、後から郵送します

八、大会準備事務局　高知市稲荷町三七　高知県板金工業組合内

九、そのほか　詳細については順次ご連絡します。

福井県板創立一〇周年を祝う

福井県板金工業組合創立一〇周年記念式典は、一〇月三日午前一〇時より、福井神社儀式殿に於て、盛大に開催された。

中部ブロック協議会の取り決めにより、本組合より柴田理事長が出席した。

鯱鉾

何ごとも造るは易く営むはむつかしい。組合の事業でも計画、立案から組織までではむつかしいようでも、まづ仕事をするのだという情熱で造りあげてしまう。そして造ったからにはとの気持で仕事を始める。然し熱意がいつまでも続くものではない。息がきれる、中だるみになる、尻きれとんぼになる。所詮三日坊主になりやすい。

若い人達も恋愛には夢中で挙式にまでことを配ぶ。そして長い結婚生活がはじまる。

造ったものを、又は結婚生活を惰性で仕様ことなしに続けて行くのはまだ良い方で、時々行づまって破綻がおきることがあるものである。

「初めも善く、中も善く、終りも善かれ」これは釈迦が弟子に法を弘めるための心得としてのべられた教えだそうで、最近読んだ友松円諦の「まことの生活」から抜粋したものであるが、この言葉は事を為しとげる上に最も必要な心構えではあるまいか。「初一念を貫く」又は「不退転」等もすべて、やりっぱなしにせないで最後迄やり抜くことの意であるが、組合の業務もこのようにありたいものである。計画をして実行に移す時点で今後の運営に対しては余程の決意がないと、終りも善かれが逆の結果を招くことにもなりかねない。

組合では毎年度の初めにその年の事業計画を発表する。発表する限りは実行するための計画でなくてはならない。然し年度末に振り返ってみて汗顔の至りということになりやすい。然し逃げ口上ではないが、計画が計画のうちは未だ救われる。けれども一端手を付けた限り、中も善く終りも善かれに持って行かねばならない。

結婚生活でも、組合の事業でも将又総べての人生一切が、常に「善かれ」の一念を持続して努めて頂きたい。

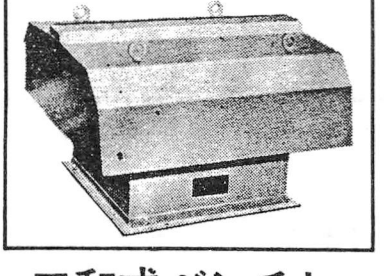
元日からつけ初めた日誌が一月も過ぎないうちに止めてしまうようなおろかなことはいましめたいものである。

初めも善く・中も善く・終りも善かれ

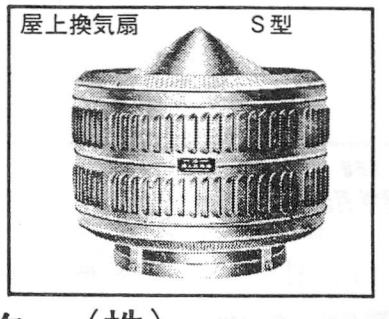
「仏教聖典」より

三和式ベンチレーター

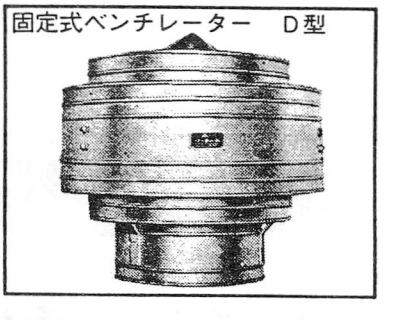
屋上換気扇　K型



屋上換気扇　S型



固定式ベンチレーター　D型



三和式ベンチレーター（株）　稲沢市高重町中道18番地　電話稲沢(0587)32－4168代表

二五周年全国大会
スローガン等決る
九月定例理事会開催
全日本板金工業組合連合会

全日板連の全国理事長会議は、九月二二日午前一〇時三〇分より、板金会館四階会議室に於て開催された。

各都府県よりの出席理事長は二六名、事務局より六名であった。本組合よりは柴田理事長が出席、

会議に先だち建設省井上係長より、建設業法についての、登録制から許可制に変った書類上の記載注意、資格及び手数料等の説明があった。

その後、各県理事長より「もっと簡単に手続きの取れる方法を、国の方で考慮してほしい」と強い要望があった。

昼食後、休憩を返上して労働省技能検定課長宮森氏より、技能オリンピック出場者資格及び、出題範囲等の説明があり、今後建築板金の工業組合は、工場板金及び打ち出し板金両職種を包含して、進まなければいけないという要望もあった。

午後一時四〇分より議事に移り、議長栗原理事長により進行、

第一号議案　住宅産業品質向上講習会の件については

一、対策の必要性と概要　石堂事務局長より

二、対象の内容

三、調査、講習の内容

四、以上にともなう重要性等を説明、全国の講習会会場及び、受講は、ブロック別にわけられ、本県中部ブロックでは、一一月八、九、一〇の三日間名古屋会場（場所は一〇月中に発表される）に於て別記の要綱にて開催されるので、多数受講されるよう。

第二号議案、二五回全国板金業者大会の件について、決議された事項は次の通り

一、各都府県板からの表彰者割当基準は、例年の割合にて実施、全国にて九一名愛知県は三名

二、スローガン一〇項目決定

(一)　全国組合員の団結強化と組織拡充の推進

(二)　資材メーカー、流通機構との調整を基に、専門工事業者の地位確保

(三)　標準方式による原価算定の確立

(四)　業者による新工法開発の調査研究

(五)　板金業者に対する国庫融資の増額促進

(六)　中小企業者に対する官公庁工事の受注拡大の推進

(七)　板金業者の格付けと、経営合理化の促進

(八)　後継者育成を目標とし職業訓練生に対する、国庫補助増額の推進

(九)　新設国保組合に対する国庫補助の増額促進

(十)　母体組合員の全板国保組合加入の徹底

三、二五周年記念のため特別表彰者を設ける

(一)　A、三晃金属、B、林興業、C、安田金属、D、鋼材新聞

(二)　昭和四一年以降今日まで引継き全板連の役員となった者

(三)　各都府県板の事務局職員中、一〇年以上勤続者

四、退職各都府県板理事長の表彰は引き続き、全板連事業として実施する。

五、全国都府県板の各委員長会を、全国大会前日に開催、但し経費は各都府県板にて負担する。

議事は以上で終了し、引き続き報告事項として

◎国保組合関係を若林委員長より

一、国保組合の指導監査の結果は良好であった。

二、国保組合に加入の呼びかけ

現在全板組合員との比率は、全国平均二五・五％（愛知県は四一・三％）の加入しかないので、もっと被保険者の増強を全員で協力願いたい。

三、厚生省に事務費助成の増強を要望している。

四、受診率の引下げに全組合員が協力願う。

それには病気になったら早期診断――早期全快によって、加入者の家庭を明るくそして国保組合の健全財政の維持に努める。

◎亜鉛鉄板会との懇談会はあまり進展していないが、大阪小沢理事長より「モデル地区及び年間契約問題等もっと深く研究すべきだ」との意見があり、全員協力する旨の発言あり本日の理事会は午後四時五〇分終了した。

職業訓練指導員及び
板学会会員研修会開催

愛知県板金高等職業訓練指導員免許所持者及び、板学会会員の職業訓練法による研修会が、九月一日午前九時一〇分より、愛知県勤労会館小ホールに於て、これからの板金業界を担う若人一〇〇人が参加して開催された。

研修会は愛知県職業訓練法人連合会事務局土井氏の司会で進められ、先づ職業訓練校長柴田氏より、研修会の重要性を認識し、青少年えの正しい指導育成に努めて頂きたいと、力強い挨拶があり、引続き愛知県職業訓練課長補佐森田氏より社会的地位向上に努められ良き指導者になられることをお願いし、そのためには県訓練課として協力をおしまないとの挨拶があった。

午前一〇時より講義に入り、精神科学研究所々長麓（ふもととおる）氏が、現代の新しい方法による人間を科学的に分析し、事業主と雇用者、潜在能力の引出し、人と人とのつながり等具体的な例をあげ説明、受講者も今迄にない変った講義に、良い処は少しでも吸収しようと懸命に耳を傾け、二時間余の時間がまたたく間に過ぎていった。

昼食後一時より、研修会終了生に訓練校々長柴田氏より、一人一人に修了証が手渡された。

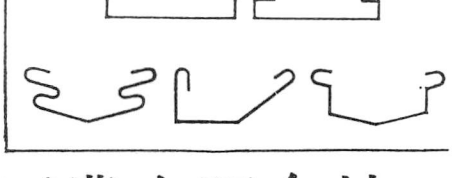
(注)　研修会は毎年行なわれていたが、色々と行事と併用していたため、修了証は前年度迄は出ていなかった。

尚この席に尾西建設共同高等職業訓練校副校長、竹内氏、青年部々長加納氏両人が見学のため参加された

CHIYOMITU

ブレス・シーヤー
折曲機・ロール
各種板金機械
工具製作販売

下図の様な曲げ方に
使用されて居ります。



野口機械工業有限会社

■名古屋市中区長岡町１の２７・TEL　名古屋〈052〉322－3911(代表)

板学会運営委員決る

愛知県板金高等職業訓練優秀指導員の、第一期より第八期迄の指導員免許所持者の集りである板学会は、九月一日午後二時三〇分より、勤労会館小ホールに八〇人が出席して行なわれた。

まづ板学会会員卒業生指導連絡名簿が配られ、新規加入者一一人の追記をなしこれからの運営方法を話し合った。

活発な意見交換後、次の五項目が決定した。

一、代表幹事は若干名とし協議制をとる

二、支部役員は会計を兼務する

三、少人数支部は合流し代表役員を送る

四、会費は一ヵ月一、〇〇〇円とし、振込先銀行は東海銀行とする。（三ヵ月、六ヵ月まとめて送金の場合は前納とする）

五、年一回の研修旅行は物見遊山ではないので、経費のかからない近い所で実施する。

尚運営委員は次の方々にお願いする（敬称略）

名古屋地区

千種＝藤井義勝、東北＝栗田光義、西中村＝奥井信一中＝長谷川義真、昭和＝高綱義高、瑞穂＝近藤朗、熱田南＝池尾利一、中川＝武藤助太郎、港＝伊藤昭作、三河地区＝野々山良平、尾張地区＝後藤茂雄、羽柴弘和、今井久由、山田栄、細野清、坂野輝三

尚一一月中旬に板学会運営委員会が開かれる予定。

後記

社報又は組合報などは、概ね専門の業界人によって取材なり編集をしている。処が本紙は所謂素人の組合員自体の手によって発行されている。従って他紙と比較して見劣りする処があり、発行日も一定せずご迷惑をかけている向もなしとしない。然し自分達の新聞は自分達の手で作ろうとの観念から、貧しいながらも今日迄続けて来た。ご期待に添う処遠く、且又内容も浅い。これからも組合に於て必要がないとの結論の出るまでは号を重ねていきたい。この新聞は皆さんのものなのである。出来ごと、ご意見、お小言、何でもよろしい寄せて頂きたい。

柴田嘉市氏（本組合理事長）職訓法人連合会長に就任

愛知県職業訓練法人連合会では、かねてより辞表が提出されていた、中島会長の後任会長選出について、去る九月十八日午後二時より、愛知県勤労会館において臨時総会を開催、中島衛乙氏の辞表を受理すると共に、後任会長の選出に移り長年にわたり副会長の職にあった柴田嘉市氏（愛知県板金高等職業訓練校長）が満場一致の推薦と、県当局の強い要請により新会長に就任された。

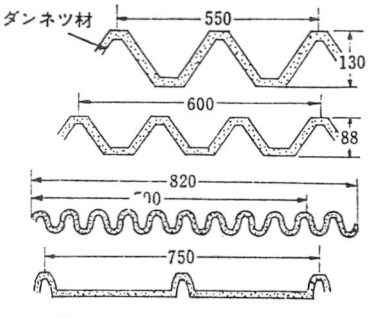
新会長の柴田氏は長年にわたる副会長として、内部事情にも精通し、加えて職業訓練事業に対しては、非常に愛情を以て運営されて来た心の強さが、多くの人から尊敬されており、今後に大きな期待が寄せられている。

柴田新会長は「各訓練校長よりご推薦を受け、何度か辞退したが受けられず、お引受けすることにした。

これからの訓練事業は年毎に運営が困難になると思うが、各団体が団結を新たにして運営してゆくつもりである。皆さんのお力を得て責任を全うしたいのでご協力を願いたい」と語っていた。

株式会社 水原鉄工所
ロール成型機と板金機械工具
住所　大阪市港区波除1丁目4番78号
TEL　06－583－1231
大阪環状線弁天町駅下車北へ6分

全国に伸びる
アイデアの扇印製品
カラー組立雨樋
ステンレスパネル
金属タイル板
金属パネル
長尺雨樋
安田金属株式会社
本社事務所　大阪市北区兎我野63（日新ビル）TEL(361) 3074
販売部　尼崎市杭瀬北新町4の16　TEL 06 (481) 6041

断熱屋根材
折版屋根材
成型品
ダンネツ550タイプ
ダンネツ600タイプ
ダンネツ波板
ダンネツ瓦棒Mタイプ


カクイチ
ダンネツ鋼板
総発売元　株式会社 カクイチ
名古屋営業所　名古屋市東市水筒先町3－4 電話(代)936－3616
(ヒビノビル3階)
東京・大阪・長岡・上田・浦和・相模原・前橋・大阪